

# 新品待てず代用…でも品薄

# 中古半導体装置 価格3倍

中古半導体製造装置の価格が高騰している。複数の中古装置売買業者によると、一部ではコロナ禍以前と比べて価格が2〜3倍になっているという。部材不足などが原因で新規装置の納期が長期化した結果、中古で代用したいとのニーズが高まっているためだ。半導体産業育成を図る中国による購入拡大の動きも価格上昇を後押ししている可能性がある。

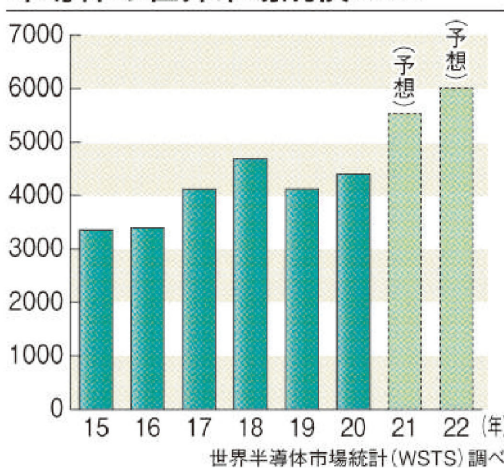
(張(京)子)

「新規装置と価格が半導体製造装置の需と「i線の露光装置は同程度であったとして要は急拡大した。ただコロナ禍前に7000も、短納期であれば装置メーカーは部材の万〜9000万円程度(中古の購入で)『時逼迫や人材不足などがなかったところ、最大間を買い』選択をする原因で、受注に対して瞬間風速は2億円まで顧客もいる」。三井住友ファイナンス&リース(SMFL)電子デバイス設備部の担当者によると、2年超に延びているケースもあるという。

2020年以降、第5世代通信(5G)の普及やコロナ禍による車載用など需要が広がるパワーストックの増産で6インチ対応の装置需要が高まっている格好。半導体の業界団体SEM Iによると、世界における8インチウエハーの前工程製造工場の生産能力は24年に20年比約17%増の月産660

## 中国勢の大量購買で拍車

半導体の世界市場規模 (億ドル)



デバイスは今でも6万枚となり、過去最高だが、8インチラインでの製造が多い。これらの急ピッチの増産で6インチ対応の装置需要が高まっている格好。半導体の業界団体SEM Iによると、世界における8インチウエハーの前工程製造工場の生産能力は24年に20年比約17%増の月産660

「8インチ対応の装置需要が高まっている格好。半導体の業界団体SEM Iによると、世界における8インチウエハーの前工程製造工場の生産能力は24年に20年比約17%増の月産660

中古装置輸出のうち中国向けは全体の「50%を超えている」と試算。独立系中古半導体製造装置売買業者の幹部は「8割」と見積もる。

同幹部は「中国の業者が中古装置を投機目的で買いあさっている」と明かす。中国では投資会社を後ろ盾とする半導体メーカーが資金力を生かし、技術系企業など第三者を通じて日本の中古装置売買業者に装置を注文することがあるようだ。

中国政府はハイテク産業に対して莫大な補助金を給付しているとき装置が発注されている可能性がある。

中古装置の価格について、三菱HCキャピタルの関係者は「落ちる気配はまだない」とみる。一般に半導体不足解消の時期は22年後半から23年とも言われ、装置の取り合いは当面続きそうだ。